

委員長	所属長承認印
	

様式第1号 (第7条関係)

2025年10月27日

つがる西北五広域連合つがる総合病院
倫理委員会委員長

所 属 リハビリテーション部
申請者
氏 名 三橋 武信 

審 議 申 請 書

下記の医療行為等を実施したいので、つがる西北五広域連合つがる総合病院倫理委員会設置要綱第7条の規定により申請します。

審 査 対 象	実施計画			
課 題 名	cFAS 及び FIM によるがん患者の身体機能・ADL 評価について ーリハビリ介入効果、転帰先との関係性ー			
実施責任者	所 属	リハビリテーション部	氏 名	三橋武信
分 担 職 員	所 属		氏 名	
	所 属		氏 名	
医療行為等の 内 容	令和6年10月から令和7年9月までの1年間のがん患者の身体機能・ADL の 評価と基本情報等を後方視的に情報収集し、リハビリ介入効果と転帰先との関 係性などについて検証する研究であり、医療行為は行いません。			
実施期間、医 療行為等の実 施場所及び症 例予定件数等	・実施期間 令和7年 月 日 (承認日から) ～平成7年11月28日 令和6年10月～令和7年9月のがん患者のリハビリ対象患者の電子カルテよ り必要情報のみ収集。 収集項目は、年齢、性別、診断名、入院期間、リハビリ実施期間、cFAS、 FIM、転帰先、その他。			
医療行為等 に おける 倫理的配慮	(1)対象者となる個人の人權擁護 カルテから得られた情報は、個人を匿名化し、情報をデータ解析します。 (2)対象となる者に理解を求めその同意を得る方法 後方視的観察研究であるため、オプトアウト方式とします。 (3)医療行為等により生じる対象者への不利益及び危険性や医学上の貢献の予測 カルテ閲覧による情報収取であり、医療行為はありません。 本研究により、本評価方法ががん患者に対するリハビリテーションの効果判 定や転帰先の予測について有用であると考えます。 (4)その他 令和8年5月開催予定の青森県作業療法学会にて発表予定。			
受 付 番 号	26	通知年月日		通知 番 号

注意事項1. 審査対象となる実施計画書又は出版公表原稿のコピーを添付して下さい。

2. この様式により難しいときは、別に指定する様式を用いることができること。

研究実施計画書

テーマ：cFAS 及び FIM によるがん患者の身体機能・ADL 評価についてーリハビリ介入効果、転帰先との関係性ー

目的：がん患者の身体機能・ADL の評価と基本情報等を後方視的に情報収集し、リハビリ介入効果と転帰先との関係性などについて検証すること。

方法：令和 6 年 10 月～令和 7 年 9 月のがん患者のリハビリ対象患者の電子カルテより必要情報を収集する。収集項目は、年齢、性別、診断名、入院期間、リハビリ実施期間、cFAS、FIM、転帰先、その他とする。
収集した情報より、リハビリ開始前と退院時の身体機能・ADL 評価を比較し効果を検証する。また、身体機能・ADL と転帰先との関係性についても検証する。

実施期間：令和 7 年 11 月 4 日～11 月 28 日

倫理的配慮：

- ・カルテから得られた情報は、個人を匿名化し、情報をデータ解析する。
- ・後方視的観察研究であるため、オプトアウト方式とする。
- ・カルテ閲覧による情報収取であり、医療行為はない。
- ・本研究により、本評価方法ががん患者に対するリハビリテーションの効果判定や転帰先の予測について有用であると考ええる。

令和 7 年 10 月 27 日
リハビリテーション部 三橋武信